

育 児

ファミリー サポート 便り

第
56
号
発行年月
令和6年12月



育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

令和6年度 **必須講座** 第2回

申込随時

預かりを行う会員は全8講座の受講が必要です。

※少しの時間の預かりや送迎のできる方も大歓迎です。お待ちしております。

保育の心

育児支援者としての心構えと親子との関わり方について

講師：市立北保育所 副所長

時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 1/30 木

こどもの世話

こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくりについて

講師：市母子保健課 保健師

時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 1/31 金

こどもの栄養と食生活

こどもの栄養と食生活について

講師：市健康政策課 栄養士

時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 1/31 金

安全・事故

乳幼児の緊急救命講習会

講師：イタミライフキーパー応急手当普及員

時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 2/1 土

こども家庭庁より通知があり、乳幼児の緊急救命講習会(AED、心肺蘇生等)及び事故対策講習会について、援助活動を行うためには **5年に1回の受講が必須** となりました。

平成27年度～平成31年度(令和元年度)に全受講された方は早急に受けていただきますようよろしくお願いいたします。

安全・事故

事故対策講習会

講師：NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 2/2 日

子育て支援サービスを提供するために

実際に活動を行うにあたっての
手順やルール、注意事項について

講師：育児ファミリー・サポート・センター
アドバイザー

時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 2/2 日

心の発達とその問題

こどもの障がいの種類や特徴について

講師：市こども発達支援センター 職員

時間 9:30～11:00
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 2/3 月

心の発達とその問題

障がいのあるこどもとの関わり方について

講師：市こども発達支援センター 職員

時間 11:10～12:40
場所 いたみいきいきプラザ 3階

令和7年 2/3 月

講座場所はいたみいきいきプラザ3階 会議室1、保育室は会議室2にて行います。

●各講座には定員がありますので、申込みは電話か窓口にて受付します。 ●参加費は無料 ●一時保育あり(1歳以上就学前まで) 保育料(1人 300円 2人目以降 150円) ※問い合わせや申込みは事務局(072-772-4560)にご連絡ください。

必須講座
～第1回～

◎18名の方に受講いただき、その内10名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

令和6年
6/29
土

〈安全・事故〉
事故対策講習会
講師：NPO法人C・キッズ・ネットワーク 大森節子さん

スライドを見ながら、子どもにとって危険な物や場所を具体的に詳しく教えていただきました。

最近の危険な物としてマグネットセットや水で膨らむボールの誤飲やウォーターサーバーから熱湯が出る怖さを聞き、予防することの大切さを知ることができました。



令和6年
6/29
土

〈子育て支援サービスを提供するために〉
実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について
講師：育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

ファミサポの制度や利用方法など手順やルール、注意事項を伝えました。また、「こんな時どうする？」の問いかけにファミサポで援助できるかできないかを隣の人と話し合ってもらいました。最後に、料金の計算方法も学んでいただきました。



令和6年
6/30
日

〈安全・事故〉
乳幼児の緊急救命講習会
講師：イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん 吉川潔志さん

乳児・幼児・大人の人形を使って、心肺蘇生法やAEDの使い方を実習しました。日本では、119番通報があつてから救急車が到着するまで平均して約9分かかると言われていますので、いざという時のために、応急手当の知識と技術を身につけておくことが重要だと学びました。



令和6年
7/1
月

〈心の発達とその問題〉
こどもの障がいの種類や特徴について
講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん

現在の障がいの考え方は、「出来ないからさせない」→「どうすれば出来るか?出来る方法をその子に合わせて考える」に変わっていることや、こどもの障がいの主な種類や特徴を具体的に教えていただきました。あすばる(こども発達支援センター)の取り組みや内容も詳しく知ることができました。



令和6年
7/1
月

〈心の発達とその問題〉
障がいのある子どもとの関わり方について
講師：市こども発達支援センター 山本佳那さん

困った子どもではなく、子どもがどうしてよいかわからず困っている。それぞれの子どもに合わせて具体的にわかりやすく伝えることが大切で、そのポイントを教えていただきました。

普段使っている物や次にする行動などを写真やカードにして見せること(視覚情報)も、子どもにとってわかりやすいと学びました。



令和6年
7/2
火

〈子どもの世話〉
子どもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくりについて
講師：市母子保健課 保健師 西村琴音さん

0歳～6年生までの死因の上位を占めるのは不慮の事故(窒息・誤飲・溺れ・転倒・転落・やけど等)で、その予防法を年齢別に学びました。「危険な場所はどこでしょう?」のワークに取り組み、最近の子育て事情や母子手帳を見ながら発達に合わせたケアも教えていただきました。



令和6年
7/2
火

〈こどもの栄養と食生活〉
こどもの栄養と食生活について
講師：市健康政策課 栄養士 池田典子さん

様々な食中毒の種類と予防法やバランスよく食べることの大切さを詳しく教えていただきました。食べにくい食材にひと工夫する方法も学びました。普段食べているパンやアイスクリームや飲料水に含まれている脂質や糖分量をクイズ形式で学び、日々思ったよりも多く摂取していることに驚かされていました。



令和6年
7/3
水

〈保育の心〉
育児支援者としての心構えと親子との関わり方について
講師：市立北保育所 副所長 平岡恵さん

保育所では、以前は保護者に対して指導するという考えであったが、現在は寄り添う、共感するという考え方に変わっていることを知りました。預かる側は、①あらゆる危険を予測すること、親子にとって安心できる居場所・存在であること②子どもたち一人ひとりに人権があること。さらに一人ひとりと向き合うことが大切で、大人や国が子どもの権利を守る責任があることを学びました。



スキルアップ講座

令和6年
9月25日(水)

自分も子どもも大切にできるコミュニケーション ～子どもの個性に添った向き合い方を考える～

講師 会話の泉 横山由紀子さん

1. 子育てを楽しんでいますか
2. 子どもの心に届く「褒め方」
3. 子どもが受け入れやすい「叱り方」
4. こんな時、どうしよう? の項目で講話がありました。



先生の体験を元に具体的に話していただき、とてもわかりやすくすぐに実践できることを学びました。参加された方からは「毎日怒りすぎて、反省の日々で自分がイヤになってました。先生のお話でやり方を変えて接してみよう!と思えました。」「子どもへの声かけがあなたメッセージになっていることに気づき、これからは私メッセージ（主語を私にして伝える）を心がけます。」と感想がありました。

今回は事前に先生への質問を受けて、講話の中に盛り込んでくださったので日々の育児の不安なども和らいだようです。これからも講座開催の際には参加者の質問などを事前にお聞きして取り組んでいきたいと思えます。

令和6年
9月29日(日)

えのちゃんのおそび大百科 ～身近グッズ編～

講師 あそびとお話のデリバリー ドコデモ 榎本英樹さん

こどもたちは様々なあそびを通して、体験が経験につながることも大人が面白くないかな?と思っても、こどもにとっては刺激的で面白いと思っていることがあることを学びました。

ティッシュマジックやストロー笛、紙コプター、くるくる魚などたくさんのおそびを実際にやってみたら、大人も楽しくて声を上げて喜ばれていました。

文字のない絵本「だるまとおおかみ（講師作）」に隣の人と文章を作っていく作業を最後のページまでやり直し、グループごとにできたストーリーを発表しましたが、様々なストーリーができてみなさん、感動していました。



令和6年
10月19日(土)

～絵本と一緒に～ 癒そうココロとカラダ

講師 NPO 法人「絵本で子育て」センター 羽石憲子さん

絵本を読むためのテクニックは必要なく、心をこめて読むだけで聴き手に気持ちが伝わること、また反対に読み手も聴いてくれる人がいる幸せを感じることが出来るのが絵本だということを知りました。

参加された方から「絵本を読んでもらうのは、初めてで、なんだかすずぐたい気持ちとワクワク感で楽しい時間でした。」「読み方やテクニックを学ぶのかと思っていました。が、絵本を読んでもらったり、絵本を通して、日々の子育てを振り返ったり、心に寄り添ったり、自分や相手を大切にしようと思えました。」と感想が届きました。



交流会の お知らせ



預かりをしている方のお話を聴いたり、嬉しかったこと、感動したこと、癒されたことやこんな時はどうしましたかなど、意見交換をしたり、みなさんでわいわいと楽しいおしゃべりができたらいいなあ～と思い開催いたします。

たくさんのご参加お待ちしております♡

わいわい♡おしゃべり会

- 日時 令和7年2月9日(日) 10:00～12:00(予定)
- 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1
- 定員 25名(先着順)
- 保育 10名(先着順、要予約)1歳以上就学前
(1人300円 2人目以降150円) 会議室3にて
*お子さまと一緒にの参加はできません
- 申込み 電話か窓口にて受付いたします
育児ファミリー・サポート・センター
TEL 072-772-4560

*令和7年1月1日号の広報にてお知らせいたします。

ファミサポの援助の様子がYouTubeで見ることができ
 どうぞご覧になってください♡



左のQRコードからファミサポのホームページにはいりますのでYouTubeのマークからご覧いただけます。



- ・ファミサポってどんな風に預かってもらうのかあ…
- ・困った時があったんだけど、どうしようかなあ〜と悩んで利用しなかった…
- ・どんな風にお預かりを行っているのかなあ…
- ・私にも預かることはできるかなあ…
- ・預かりはできないけど、小学生くらいのこどもの習い事へ一緒に歩いて送迎はできるんだけどなあ…などなど

YouTubeを見ていただいて、感じられた事やお聞きになりたい事等がありましたら、遠慮なくセンターまでお問い合わせください。

預けたい方も預かってみたい方もまだ登録されてない方も3ページに記載しています交流会を開催いたしますので、興味のある方はこの機会にご参加いただけたら嬉しいです。

昨年、初めて交流会を開催したのですが、大好評でした。お待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします!!



年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃいます。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたく思います。よろしく願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地
 伊丹市立地域福祉総合センター1階
 (いたみいききプラザ)

TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで **休館日** 日・祝日、年末年始

交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ

